

# たんぽぽ保育園

令和7年度 保育園における自己評価

## 評価基準

A	大変よくできている	85%以上
B	良い	65%以上
C	検討が必要	50%
D	改善を要する	25%

保育所保育指針で「保育所は保育の資質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、園の保育の内容について評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。 よって、たんぽぽ保育園では、これに基づき自己評価について公表いたします

評価日： 2026年2月1日

対象保育士： 16名

評価項目	結果	取り組み状況
保育理念 保育観	A	保育所保育指針の「5領域」、「10の姿」を基本に国の理念を大切にしながら、年間計画や月案、週案を作成し保育を行っています。 また職員全体で振り返りや反省など話し合う場を持ち、園全体で把握し共通認識を持てるように取り組んでいます。
保育の内容	B	0~5歳児の年齢別の発達をきちんと理解して保育を行うことができるよう月に1回のクラス担任の研修、以上児・未満児会議、職員全体での会議を行っています。 発達支援では市や関係機関と連携し巡回指導や訪問を行っています。
保護者との連携	A	連絡ノート（全クラス）を活用し家庭での様子と園での様子を伝え合えるようにしています。また、園での出来事や子どもたちの成長、発達の姿を日頃から通信等で伝え保育を共有し関心を持ってもらえるようにしています。行事の後にはアンケートを実施し意見をもとに次年度につなげています。
保健活動 安全管理	B	定期的な安全点検、月一回の避難訓練、年に数回の交通安全教室や不審者対応訓練などを行っています。内科検診、歯科検診、アレルギー面談等を定期的に行っています。子どもたちとは保育を通じて健康のこと、体（心）の大切さを伝える取り組みをしています。

### ・次年度へ向けての取り組み

- ・月一回の職員の学習会では他園との交流を取り入れ保育の視野を広げていきたい。
- ・安全衛生に関する園での対応について再度見直し、実状に沿ったマニュアルを作成する。
- ・定期的にアンケートを実施し保護者の声を聞き、取り入れながら改善していく。

### ・総評

- ・自己評価を実施したことで一人一人の職員が改めて保育士としての姿勢や役割を再確認し、自分の保育を振り返り見直すことができた。
- ・今回の自己評価の結果から一人一人の評価をもとに個別の課題だけでなく園全体での課題を見つけ理解し今後の保育に活かしていきたい。